

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

| | |
|----------------------|--|
| ○当事者A | 年齢[32]歳、勤続年数[14]年、現場経験年数[3]年、階級[消防士]、同様の活動[初めて]、任務[機関員] |
| ○当事者B | 年齢[49]歳、勤続年数[27]年、現場経験年数[]年、階級[消防司令補]、同様の活動[初めて]、任務[車長] |
| ○当事者C | 年齢[31]歳、勤続年数[13]年、現場経験年数[4]年、階級[消防士]、同様の活動[初めて]、任務[隊員] |
| その他 (当事者が4人以上の場合) | |

11. 事例発生の経過。

| | 誰(何)が | なにをした | その他・備考など |
|------|-------|-----------------------|----------|
| 経過1 | A B C | 現場到着 | |
| 経過2 | B | 傷病者接触 | |
| 経過3 | A C | 傷病者接触 | |
| 経過4 | A B C | 傷病者を布担架でストレッチャーに移し変える | |
| 経過5 | A C | 資器材撤収等のためストレッチャーから離れる | |
| 経過6 | B | 傷病者から目を離す | |
| 経過7 | 傷病者 | 寝返りを打ちストレッチャーから転落 | |
| 経過8 | | | |
| 経過9 | | | |
| 経過10 | | | |

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思いか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思いか？

危険情報を把握、予見できなかった。集中力、注意力がなかった。他隊(員)との連携活動がうまくいかなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

| | |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。 | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

| | |
|---------------------------------|-----|
| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。 | はい |
| ・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。 | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

| | |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。 | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | いいえ |
| ・活動に対する経験が不足していた。 | いいえ |

d. 心身の不調があった

| | |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

| | |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。 | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | はい |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。 | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

| | |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

| | |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。 | いいえ |
| ・暑かった（寒かった）。 | いいえ |
| ・野次馬が多かった。 | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

| | |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。 | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

| | |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。） | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。 | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

| | |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | はい |
| ・隊員が不足していた。 | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

| | |
|-----|--|
| いいえ | |
|-----|--|

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

事故の原因については、個人の注意力が散漫になり、基本的な動作確認を怠ったことにありますが、署所において、確認呼称の徹底等、問題点と安全対策について検討を行いました。

○装備・資機材の対策について

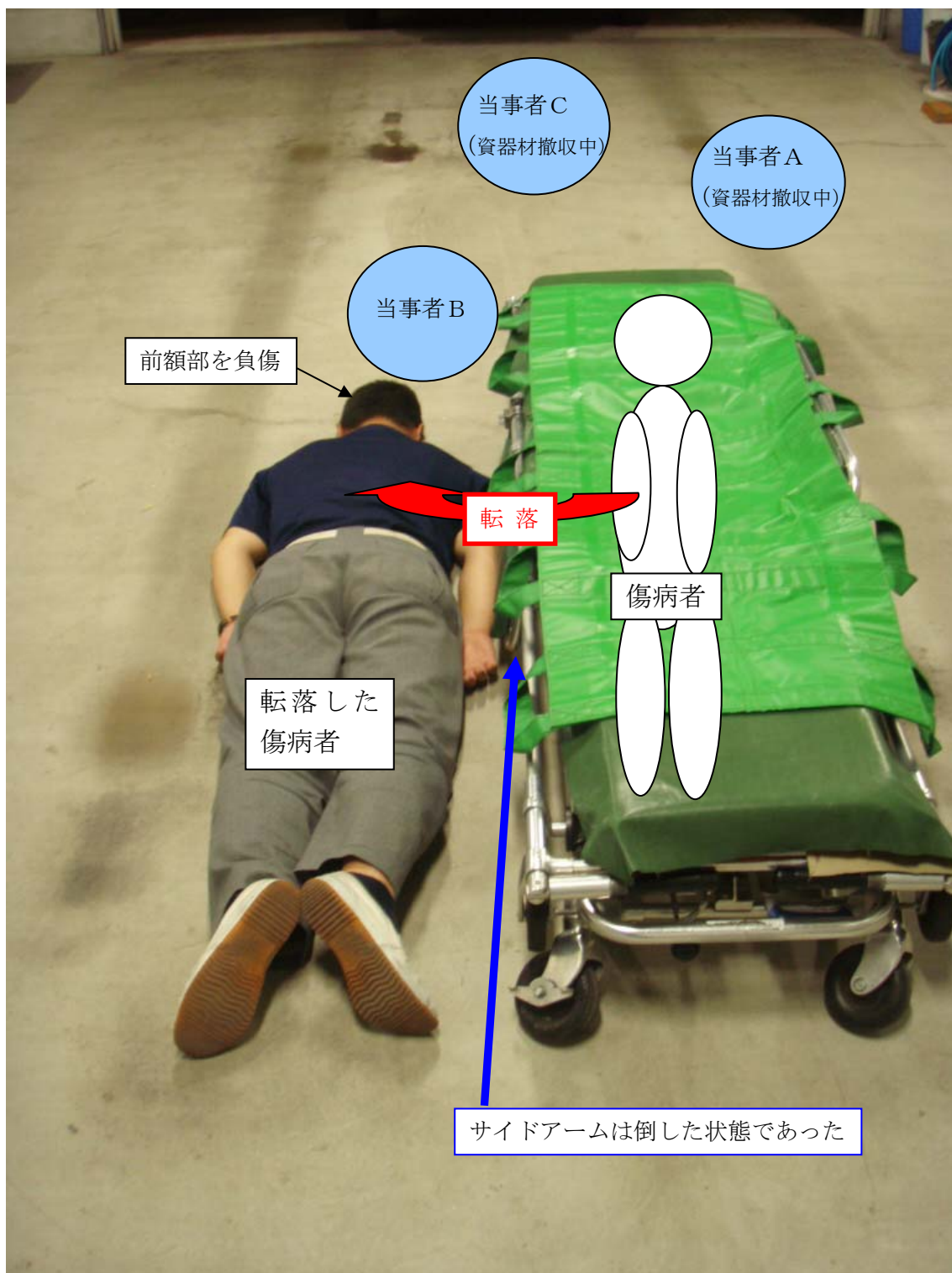
部隊内でストレッチャーの性能及び使用方法等を再確認し、問題点と安全対策について検討を行いました。

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

部隊内で基本的動作及び確認呼称の徹底を行い再発防止に努める。

傷病者がストレッチャーから転落した事案の再現図



○事故事例: 傷病者が寝返りを打ちストレッチャーから転落した事故
 (同様の体験は、初めて体験した。)

(09J0066)

・発生日時 : 平成21年1月19日 午前9時頃

| 経過 | 現場の状況 | 隊員A | 隊員B | 隊員C | 備考 |
|------|-------------------------------|--|---|--|--|
| | | 車長/消防司令補 ・年齢 49 歳 ・勤続 27 年 ・現場 0 年 ・同様の活動: 初めて | 機関員/消防士 ・年齢 32 歳 ・勤続 14 年 ・現場 3 年 ・同様の活動: 初めて | 隊員/消防士 ・年齢 31 歳 ・勤続 13 年 ・現場 4 年 ・同様の活動: 初めて | |
| 出動指令 | 救急出動 老人ホーム多目的室 | | | | |
| | | | | | |
| 出動途上 | | | | | |
| 現場到着 | | | | | |
| 活動初期 | 傷病者はソファーに寝かされていた | | | | |
| | | 傷病者接触 | 傷病者接触 | | ストレッチャーをソファーに横付けし傷病者を移し変えるべきであった。 |
| | | 傷病者を布担架でストレッチャーに移し変える | | 直後に転落防止を図るサイドアームを上げなかったこと及び安全ベルトの使用を怠った | |
| 活動中期 | | | 資器材撤収等のためストレッチャーから離れる | | ストレッチャーから離れてしまったため、傷病者の突発的な行動(寝返り)に対応できなかった。 |
| | | 傷病者から目を離す | | | |
| 活動後期 | 傷病者が、寝返りを打ちストレッチャーから転落(約30cm) | | | | |
| | 前額部を負傷 | | | | |

◎事故が起きたのはどうしてだと思いませんか？
 ○直接的な原因: 行動の実行に問題があった。
 ・危険情報を把握、予見できなかった。
 ・集中力、注意力がなかった。
 ・他隊(員)との連携活動がうまくいかなかった。

◎事故が起きた背後要因
 (心理・体調について)
 ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。
 (装備・資機材について)
 ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。
 (指揮・管理について)
 ・隊員の連携が不十分だった。